제89호 1909. 4. 22.
明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可 (日刊) 祭日及月曜の翌日休刊 明治四十二年四月二十二日(木曜日) 第八十九號 (一)

京城新報

人の一生は重き荷を負て遠き道を行くが如し急ぐべからず

京城居留民團公文

京城居留民團告示第八號(其ノ續)

明治四十二年度京城居留民團歳入出豫算及同年度京城居留民團特別會計漢城病院歳入出豫算左ノ如シ

明治四十二年四月十五日

京城居留民團民長 熊谷賴太郎

明治四十二年度京城居留民團特別會計漢城病院歳入出豫算表

歳入

經常部

第一款 漢城病院收入 金五萬〇九百十六圓
第一項 藥價及材料收入 金二萬六千〇六十一圓
第二項 診察及手數料 金四千六百五十五圓
第三項 入院及賄料收入 金一萬九千五百二十八圓
第四項 雜收入 金六百七十二圓
第二款 齊坡病院收入 金三千九百三十三圓
第一項 藥料金收入 金三千八百五十五圓
第二項 雜收入 金七十八圓
第三款 新町健康診斷所收入 金五千〇三十一圓
第一項 藥價及材料費收入 金二千六百六十五圓
第二項 診察及手數料 金二千三百六十圓
第三項 雜收入 金六圓
小計 金五萬九千八百八十圓

臨時部

第一款 補給費 金二千圓
第一項 補給費 金二千圓
小計 金二千圓
合計 金六萬一千八百八十圓

歳出

經常部

第一款 漢城病院費 金四萬八千五百五十八圓
第一項 俸給 金二万二千二百四圓
第二項 雜給 金六千三百圓
第三項 需用費 金一萬九千〇七十二圓
第四項 修繕費 金六百四十六圓
第五項 保險費 金三百三十六圓
第二款 齊坡病院費 金六千六百四十九圓
第一項 俸給 金二千三百二十八圓
第二項 雜給 金一千二百九十八圓
第三項 需用費 金二千六百八十二圓
第四項 修繕費 金三百四十一圓
第三款 新町健康診斷所費 金四千八百六十九圓
第一項 俸給 金二千五百三十二圓
第二項 雜給 金八百二圓
第三項 需用費 金一千三百八十五圓
第四項 修繕費 金一百五十圓
第四款 雜支出 金一百圓
第一項 雜支出 金一百圓
第五款 豫備費 金一千七百四圓
小計 金六萬一千八百八十圓
合計 金六萬一千八百八十圓

(完)

●正誤● 京城居留民團告示第六號第十七條中入學志願者氏名ノ下印ヲ削ル同條履歷書樣式中現住所ノ次行氏名ノ下印ヲ削ル●第十八條保證書樣式中現住所ノ次行氏名ノ下印ヲ削ル同條中邊ハ覆ノ誤●第二十四條ノ二出席ハ出缺ノ誤

東拓人物評論(十)

◆吉原副總裁◆(三) 翠山

思ふに氏の如きは好辯家の句觸を以てすれば圓滿滑脫なる好人物と許すべけんも、辯舌家の口吻を以てすれば淡香も焚かず屁も放れず、所謂毒にもならざれば藥にもならざる人物なりと評すべし、而も余輩を以て忌憚なくいはしめば氏は到底凡を拔んずる大人物に非ざる代り又世渡りに困難を感ずる程のれ人好しには非ざるなり、而して氏は其の實神經過敏にして物に感じ易く細心小膽、克く人情の機微を察し、世故の曲折を究め同時に翼々として一意唯其の身に過ちなからざらんことを期し而も其の間巧みに身を處して世に立つの風あり雖氏は此の神經過敏にして感じ易く怒り易く泣き易き性質をば自制の力に依りて内に隱し外些の圭角を現はさゞるを以て世人の多くは氏を目して圓滿滑脫の人物なりと稱するに至れるなり、氏愛に至つて唯の鼠にあらず、ツマリは世渡りに巧妙を得し如才なき人物といはざるべからず、官界の游泳約三十年、每時の淘汰、每時の動搖に地震搖ぎもせず蒼々として其の頭を擡げ來りし所以のもの亦偶然にあらざるなり。

斯くて其の後日露戰役を經て三十九年西園寺内閣成立するや、氏は更に一躍して原内相の下に内務次官となり、克く原氏の女房役を勤めて遺ふ所なかりき、而も由來原氏の性質たるや匆急短慮にして些の寛假なく總々として人に迫り頑然として己れを曲げざるものあるを以て普通一般の人物にては到底氏の下に辛抱するを得ざれども氏は平然として敢て逆らはず聞くことを命せらるゝこと風に柳と受け流して克く其の職に任じたりき、されど其の手腕と力量とに至りては例に依りて見るべきものなく唯外形に現はれ來りたる規則的の事務を處理するに止まりし而已、而も一事一物策を廻らし計畫して以て社會の大勢を左右せらるべき好地位に在りながら何等の創見もなく建策もなく尋常一樣の俗吏と其の軌を一にす善く評すれば循吏惡く評すれば刀筆の吏といふ豈に敢て不可ならんや蓋し世に處するに万全の策を執るは氏が從來の方針なり時に權道を用ひ、奇手を選ぶがごとき政治家的行動は氏の到底能くせざる所なり、故を以て當時内務次官としての重任に就きしは思ふに露路者が氏の實價を觀破したる結果に非ずして唯其の官吏としての年功と同時に氏が手腕を試さんが爲めに過ぎざりしならんか

佐倉宗吾

(五十九) 眞龍齋貞水講演

甲「ソーレ、この屋敷みんな打破せッ、何人か指圖しろッ……新田の寅十ウ 寅「オーイ 甲「オイ太郎作ウ 太「オーイ 甲「此處へ來て見ろッてば、コレ百姓苦しめやがつて、此床の間の立派な事、城代へ親爺ア贈つて、こんな贅澤しやがつて、僕んなハア是れ、俺が血を絞りやがつたんだ、こん畜生ッ」グワーラ、グワーラ、ミリミリッ、キウッく、ピリピリッ、甲「なんだ其物はて衣服を引裂くだ 甲「ソレラの床の間へ懸つてゐる掛物を引裂いて仕舞へ……その掛物ぶち破はせッ……ソーレ、唐紙を打破れい……ソーレ、障子の骨ぶつ挫けッ……ソーレ疊わけて引裂いて仕舞へ」ワイワイ、グワラ、グワラーア、忽ちの間に、何物もかも之を打破はしまする 甲「ソレ、夏根早苗の屍骸を、將門山へ曳揚げろー」と、屍骸をズルズル曳摺りたる事にて、一同の者が將門山へ引揚げ、茲に愈よ國表にては、百姓一揆が起りましたから、江戸表へ此事を急使を以て注進に及びました、川越播磨殿に於ては、明日頭は大和を伴れたる事にて、國表へ出立いたさんと思召して居つた所へ此注進が來たに依て「ア、吾々共が、國表へ乗込まぬ前に、最早百姓一揆を起してくれたか、事こゝに及んでは、如何ともする事が出來ない、近き内に御家は滅亡、生命長きは恥辱多しとは是の事なり、生を見るより速に腹かつ切つて相果てん」と終に細々と認めましたのは、國表城代家老の壓制にて、御家は最早滅亡、吾々生存て御奉公するの必要なしと、健氣にも七十一歳の御老人が、美事に腹かつ切つて相果てた、此方は大和に於ても、今この一揆の注進を御聞きに成つた時に「叔父上と共に、御國表へ乗込んで、恐入共を取調べ、御家のため仁政を敷き、万代不易の基を立てんと心得たる所を、斯る注進ある以上は、最早なに面目あつて生存へやう」と弱年なれども大和は、先見明らかにして、最早この御家に瑕瑾つくと覺悟いたし、是また美事に切腹いたしました、サア六人の庄屋は何うも致方がございませぬから、小原村の半重郎の親戚でございます、銀町の伊勢屋半兵衛と云ふ、太層な質屋で、兩替店をして居ります者の家へ、半重郎の手引にて宿を取り『さて何う成るか分らぬが、吾々いきて居なければ、百姓一同の難儀を救ふ譯にいかぬ』と、伊勢屋半兵衛の奥土藏の二階へ忍んで、國の一揆が何う鎮まるかと云ふ事を、心待ちに相俟つて居りました『何でもマア御家老様方が、御國表へ乗込んで下さりや、縱令一揆を起しても、此一揆は鎮まるであらう』と窃に心の中に、御家老様を頼みに思つて居りますと、半重郎が 半「さて宗吾さん 宗「ハイ 半「どうも間違へば間違うものです、今朝店の衆の心きゝたる者を頼んで、この半重郎が、堀田様の容子を探つて貰つた所、恰度この家の親類が、堀田様の直ぐ前の酒屋で是が御出入だからこの御出入の酒屋から容子を聞て見ば國の一揆はなかなか盛で容易に鎮まる氣色もない第、夏根様を殺して仕舞へ…… 宗「エッ、そりや大變 半「所が頼みに思つた堀田大和様と、川越播磨様も御切腹なされたやうな噂も聞きました 宗「エイッ、イヤそりや大變な事が出來た 半「あの御家老御二方が、御腹を切すやうな事に成つちや、斯りや此樣しちや居られないが、併し今吾々が出れば、必ず堀田様の役人が、吾々に眼を着けて、一揆を起したのも吾々が、一同の百姓に勸めたなどゝ云はれても、是また大變、聞章てゝ事を仕損じては成らぬから、もう少々の間は、一揆の鎮まるのを待ちませう」と云ふのを宗吾は腕を組んで 宗「ア、大變な事になりました」と云つて、別に今の所、施すべき手段がござりませぬから、毎日顔を竭めて容子を窺つてゐる、然るに此方は、殿の堀田上野介は、今に大和、播磨の兩家老が、國表へ出立の暇謝に出るであらうと御待受遊ばす、其所へ、播磨大和の兩人、只今切腹いたしましたと申し上げたから、殿は「アッ」と御驚きになりまする内に、國表の一揆の注進、櫛の歯を挽く如くに御屋敷へ來りますので茲に堀田家に一大騷動を惹起しました

謹告

(二) 明治四十二年四月二十二日（木曜日） 京城新報 第八十九號

京城新報

日英同盟と韓國

世には一種の傀儡師なるものあり、鬼を出すも佛を出すも自由自在なり、近世の外交家なるもの亦此趣きあり、頃者傳ふる所の日英同盟解除說の如きは正さしく此種の外交家によりて虛構せられたるもの也、此種の外交家は好で平地に波瀾を起し、其隙に乘じて火事盜的の仕事を爲さんとす、歐洲電報によれば、始め伯林及維納の新聞によりて傳へられ世論の囂々たるに及で獨逸の諸新聞は頻に之を打消し居れり、余輩は是等の虛構說を傳へし火元が何れなるかを明言せざるも外交裡面の消息に通ずるものは之を識認するに難からず、

日英の親交は由て來る所深遠にして、其同盟や決して一夕の故に非ず、從て兩帝國の同盟は頗る鞏固にして是等虛構說の爲に何等の影響を受るものに非ず、如何に皮肉なる外交家が此間を削かんとするも兩帝國は決して之に惑さるゝことなし、彼等の奇巧なる術策も徒勞たるなり、近時の如く東洋の平和なる時に於ては同盟の効力表面に現はれず、爲に幾分日英同盟の淡なるに至れるの感を抱くものなきにあらざるべし、然れども之れ平和の爲に斯く見ゆるのみ、寧ろ之れ喜ぶ可きの現象なりとす、

然るに日英同盟解除の虛構說は端なく韓國鄙士の愚民を惑はす材料となれり、所謂韓國鄙士は此說を見て鬼の首にても取りたる如く、此等の電報を利用し且つ之を誇張し愚民を煽動せんとするものありと聞く、斯の如きは韓人の日常茶飯にして今更怪むに足らざるも余りに其心事の淺薄幼稚なるを憐まずんばあらず、日韓の關係は素より日英同盟の云々によりて變更するものに非ず日韓今日の關係たるや、既に列國の深く承認せる所にして如何なる事情の湧出するも決して些少の影響だに受くるものに非ず、假りに英國との同盟なしとするも、帝國の外交が如何に拙なるも、實力に於て一國を以て優に東洋の覇を稱するに足る、若し夫れ帝國にして列國の猜疑を招くことに頓着せざるならば、東洋の事は總て意の儘に決することを得べき也、然るに帝國が之を爲さゞるは畢竟未だ最後の必要に迫られざるが爲なり、夫れ之を知らずして日英同盟の中止は帝國の對韓政策に變化あるべし杯と而も虛構說を楯で夢想するが如きは噴飯すべき事なりとす、由來韓人なるものは何等かの機會さへあらば、之を利用して自己の目的を遂せんとする狡智に富む、此常手段により、强國に仕へつゝ邦土を維持し來れり彼等は今回の日英同盟解除の虛說をも利用し之に乘ずるの端緒を開かんと喜び騷ぐも、日韓今日の關係は彼等が思へる如く若かく薄弱なるものに非ず、斯の如く彼等が空騷するは畢竟近世の事情に迂濶なるが爲なり、彼等は近世の思潮を解するの能力なし、韓國人たるもの宜しく其分を守り斯る益なき事を夢想するよりも誠心誠意保護政治の恩澤に浴することに努むるこそ肝要なり、

●暴徒討伐彙報 慶尙北道奉化郡憲兵分遣所下士一補助員五は四月七日同地東方三十五ゝ衝突其一を殪し銃一を鹵獲す▲全羅南道古阜院分遣所憲兵四補助員六は四月十五日同地東北約四里の地に於て賊十二と衝突其二を殪し銃一刀一を鹵獲す

東京電報

▲大藏省員の差遣 大藏省理財局長勝田主計田明書記官は淸韓兩國へ差遣を命せらる

▲韓國暴徒討伐戰死者合祀 韓國暴徒討伐に關し死沒したる軍人軍屬の靖國神社合祀の件特旨を以て仰せ出さる（以上二十一日發）

外報一束

●獨淸借款條約 は英國の抗議に由り行惱みの觀ありしも大体は既に決定し獨逸は貸主となり英國は只々資金募集に應じ得るのみ斯れば早く調印せらるべかりしも一には獨逸銀行資金調達の都合もあり一には新任駐獨公使蔭昌が伯林着の上協議を要する事項もありたるため今迄遷延せしが公使も既に着任したれば愈々一兩日中には調印を見ん

●土國秩序恢復 土耳古は常態に復し軍隊は兵營に歸れり然れども今回の病的暴動の結果は永く彼等が胸裏に殘る可しと

●造艦と英會社 英國グラスゴーのジョン、ブラウン造船會社と露西亞の帝國造船所との間に豫て進捗中なりし協商は遂に締結せられたり此協商によりジョン、ブラウン造船會社は露國新海軍の造船計畫其他の事項に關し露帝國造船所に技術上の勸告及び協力を與ふることとなりたり

●立憲豫備上奏 屢々上諭を發し至急上奏すべしと督促せる今後九箇年間に準備すべき憲政に關する事務は此の頃に至り中央地方各衙門より年度に割宛てたる豫備事項を列記し頻に上奏し來れり

●租界內の禁煙 上海外國租界の市參會は三百六十三戶の阿片店を三月三十日限り閉鎖し殘餘三百六十六戶の阿片店は十二月三十一日を以て閉鎖せんと計畫せり故に其曉には一戶の喫烟窟も外國租界に存せざることとなるべし

●淸國側の反省 徐總督は過日交涉し來りし安奉線改築後の行政及警察權問題は之を容れて別個の問題として同線改築に關し買收の件は不日滿鐵會社と交涉せしむべき旨辨明し來り彼の態度稍一變せり

雜報

●漁業出願數 昨日迄に水產局にて受理したる漁業出願數は免許漁業五十一件（內日本人二十六件）許可漁業十九件（日本人八）にして許可漁業は總べて許可濟となり免許漁業に關しては遠からず技術官を派遣し實地調査の上處理する筈なりと

●宇佐川總裁英斷 東洋拓殖會社に對する世人非難の一理由は同社重役及び理事課長等の俸給手當が格外に高きと普通社員等の俸給手當が格外に低きと同時に冗員の極めて多きに失するにあることとなるが總裁宇佐川男爵は大に世論に鑑み五月總會前に於て重役理事以下の俸給手當に削減を加へ普通社員の待遇を改善し同時に冗員の淘汰を行ふ等社內の改革に英斷を施すべしとの事なり

●帝室債務審査會 昨二十一日午後一時より引つゞき佐々木帝室債務審査會長代理以下各委員參集し帝室債務の整理に就て協議を開けり

●農商工部大臣渡日 趙農商工部大臣は日本觀光團の歸來次第渡日すべしと云ふ

●郡主事不日任命 各道に配置すべき郡主事は岡內部次官歸任せしを以て不日任命の沙汰あるべしと

●專任主事着任期 學務及土木擔任の主事にして內地より着任すべきものは來る廿五日頃着京の上夫々配置さるべしと云ふ

●儀式變更の建議 前判書李舜夏外數名は冠婚葬祭の儀式變更に關し中樞院に建議書を提出すべしと

●敎員の退隱料認可 新義州居留民團立尋常高等小學校は在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法第一條に依り二十四日付を以て指定さるべき筈也と

●文川郡の大掃討 文川守備隊及憲兵隊警察官より成る討伐隊は過日文川村邑深く入り込み掃討に從事したるも賊影を認めざりしと云ふが更らに火を放ち二三の韓家を燒き拂ひ大掃討ありしと云ふ

●實行委員會と請願 仁川築港期成實行委員會は昨日所報の如く一昨二十日午後八時より仁川民團樓上に於て開かれたるが出席者は三十六名先づ幹事三名の選擧を行ひたるに其結果穎原、加來、稻田の三氏當選し右三名の幹事及び相談役今井、木塚の兩氏は兩三日中に請願書を草案し居留民全部の調印を執りたる後更に委員會を開きたる上統監府及び韓國政府に右請願書を提出することに決したりと

●大邱管內新舊度器（觀察道調▲印增を示す）

郡名	舊式針尺に相當新尺	舊式布帛尺と相當新尺	舊式針尺と新尺の差	舊式布帛と新式尺差
開寧	一、八二分	一、七六分	▲八二分	▲七六分
英陽	一、七三	一、六八	▲七三	▲六八
長鬐	一、七五	一、七八	▲七五	▲七八
奉化	一、三五	一、七六	▲三九	▲三七
順興	一、七五	一、六六	▲七五	▲六六
眞寶	一、六一	一、六六	▲六一	▲六六
禮安	一、八〇	一、六七	▲八〇	▲六七
榮川		一、六八		▲六八
玄風	一、七六	一、六七	▲七六	▲六七
青松	七、三	一、七〇	▲七三	▲七〇
河陽	一、八〇	一、七〇	▲八〇	▲七〇
醴泉	一、九五	一、六八	▲九五	▲六八
龍宮	七、四	一、六六	▲七四	▲六六
延日		一、七五		▲七五
興海	一、七五	一、七〇	▲七五	▲七〇
仁同	一、七七	一、七八	▲七七	▲七八
義城	一、七五	一、六七	▲七五	▲六七
慶山	一、七〇	一、六五	▲七〇	▲六五

●典膳課長の運動 宮內府典膳課長安淳煥は經理院卿に轉せんとて過般來屢々李總理大臣を訪ひ運動中なりと京城通信は傳へり

●農工銀行重役會議 同會議は來月十日頃營業上に關する打合せの爲め京城に會議を開く筈なるが此會議に列席するものは平壤、京城、全州、光州、大邱、元山の各本店支配人と元本店にして現時は支店たる海州、晉州、鏡城及重なる支店の大田、會寧の支配人等なりと云ふ

●東拓總裁上京期 宇佐川東拓總裁は東京に於て開催する第一回株主總會の爲め祕書役を隨へ來月十二三日頃上京の筈にて同重役中の一兩名も同行すべしと

●農商工部大臣招宴 既報の如く趙農商工部大臣、木內次官及各高等官一同は昨二十一日午后六時より掬翠樓にて懇親の宴を開きたるが却々の盛會なりしと

●內部大臣の招宴 既報の如く朴內部大臣は一昨廿日午后六時より所屬高等官四十余名を掬翠樓に招き新任披露の宴を催したるが大臣の挨拶岡次官の答辭演說ありて宴に移り主客歡を盡して散會したるは十一時にして頗る盛會なりしと

韓國小作の種類

韓國の小作は地方に依つて多少の差異あると雖も概して賭地法と打作法の二種類にして小作料は專ら物納なるが金納は特に小作人の希望又は地主の都合に依り採用するものにして物納には籾一石の代りに白米四斗を納めしむるとあり又金納の場合は籾一石に付其時の市價より二十錢の割合を以て徵收するものとす而して

▲賭地法 は地味の沃瘦を見て耕地に等級を附し各等に就き一定の小作料を定む假令は一反步の小作料一等地は一石三斗五升二等地は一石二斗三等地は一石五斗四等地は九斗と云ふが如し非常の凶作ならざる限り減租又は免租の事あるなし次に

▲打作法 は專ら收量折半法に依るものとす此の場合には地租は地主の負擔とし種子は最初の年に限り全部地主より之れを給與し次年よりは其の收量の內より種子量を引去り殘額を折半するものなりと

●榮山浦昨今の狀況 全羅南道榮山浦附近は土地肥沃なるにより日に月に邦人の增加し何れも商業及農業に從事し居れるが農場の如きは各所に盛に開墾せられ韓人を使役し土地の發達を計り居れり從つて韓人も利益を得自然日韓人の交際相睦なるを以て輕忽粗暴の擧なしといふ而して近時邦人の移住者增加するに從ひ川韓人次第に山間僻地へ轉移するは結構なる事にして又各所へ學校を創立し日韓の子弟を薰陶せるものあり又榮山江は舟楫の便あり貨物の運送旅客の往來に便に光州榮山浦間に通ずる街路の如き平坦にして車馬貨客輻輳すと

●滿洲官烟の今後 吉林に於ける日本官烟發賣禁止事件に就ては淸國官憲が强制的に禁止の擧に出でたりとの公報は未だ外務省に達し居らず只他の雜貨類に對し落地稅を課したるに對し我より煙草の無稅を引例したるが蛇蝎となり然らば課稅を厲行せんと云ひ出でたるより忽ち發賣禁止を傳へられたるものなるべしといふものあれど這は別說として元來外國品は其輸入の當時海關にて子口半稅とて輸入稅の半額を支拂ひ是にて該商品は支那內地到る處無稅にて常に營業稅目の下に此協定を破毀せんと試むるを屢あり現に萩原領事時代に趙率天將軍は日本官烟販賣店の門前に數名の巡警を立たしめ苟も官烟を購入して其門を出づる支那人を見れば之を擁して稅金を强取したる事あり當時領事團は右に對して聯合抗議を申込み趙將軍よりは同意し難き旨の復照ありて其儘にて今日に至れるものゆゑ支那官憲の態度としては決して新に表明せられたるものにあらず又日本も前年の協議と同樣の意見に過ぎざれば畢竟するに他の諸懸案の解決と同時に彼の疑ひは自から散ずべく勿論滿洲に於ける官烟の販路に影響を及ぼすに至らざるべしと

●恩賞課長の交迭 軍部軍務局人事恩賞課長陸軍步兵副領閔用基は十六日付を以て本職を免し豫備役を命せられ軍部附陸軍步兵副領韓弼相其後任に補せられたり

●密陽烟草栽培價格 密陽烟草耕作組合長矢吹啓太郎氏より理事廳へ報告せしものによれば栽培收入の金額百四十九圓廿一錢にて該金は慶尙農工銀行より借入れたる五千圓に對し償務償却に納入したりと

●輕便軌道の認可 釜山小宮某氏の出願に係りし忠淸北道靑山郡黃澗驛と尙州郡得水洞間との輕便軌道敷設は鑛區黑鉛運搬に關するものなるが去る十七日大邱久水理事官は釜山鑑山理事官へ其許可書を送附せり

●仁川港の出入船舶 一昨日仁川に入港したる船舶は矢崎神代の二隻なるが入港船は一隻もなく目下の在港船は爾武、英船スタンダート、東照、櫻井、安來、千葉、錦江、龍湖、鑑玉、海利、京城號の諸船也と

●勳章佩用の允許 正三品金貞坤同丁致國は曩きに日本帝國より領受せし勳五六等瑞寶章の佩用を此程允許されたり

●春季種痘の人員 本月五日より十五日に至る九日間に於て一般人民及各學校生徒幼稚園幼兒に執行したる接種人數は一般人民男八百二十七人、女一千五百十四人、學校生徒及幼兒は二千三百三十人合計四千三百七十一人なりと云ふ

●コ氏の採鑛權獲得 コールブラン氏は咸南甲山郡鑛東社に於て三百三十三萬三千三百三十坪の銅鑛採掘權を得たりと京通は傳へり

●窪谷警視送別宴 此程內地に轉任を命せられたる窪谷警視の爲めに昨二十一日花月に於て送別宴を開きたるが來會者は各部の官吏其他にして頗る盛會なりき

●測候所新築延期 元山測候所は過般來烽燧山二本松附近に新築の豫定にて本年度の豫算に計上する筈なりしも經費の都合上來年度に延期する事となりたりと云ふ

●歸還軍隊釜山着 歸還部隊第十三聯隊の一部は二十日午後十時三十分着釜し一泊の後ち今日午後二時乘船、歸朝の豫定なり

●韓國醫學會開會 第二回韓國醫學會は十八日午後一時より京城ホテルに開會せり出席者二十七名鈴木幹事の第二回學會收支決算報告神谷顧氏の花柳病豫防法調査報告あり六時半閉會し終つて懇親會を催し種々有益なる談話等あり八時頃散會せり

●神尾典獄の東上 京城監獄署神尾典獄は東京に開催さるゝ全國典獄會議に參列のため二十日夜南大門發にて東上せり

●鑛業權許可 四月八日より十二日に至る鑛業權許可左の如し

▲石炭、咸北會寧郡鳳儀郡（一〇〇、一三七五坪）會事、財龍稍三▲黑鉛、忠北靑山郡西面（三三五、三五九六坪）仁川、鹽川勝太郎▲銅、咸南端川郡斗日面（一八六、八七五坪）京城、申錫永外一人▲黑鉛、忠南懷德郡山內面（一三五、一二一坪）大田、渡邊寬治▲金鑛、平北寧邊郡古城面（六八三、三九三坪）京城閔泳夏外六名

●全羅南道の賊狀 全羅南道の賊徒は依然として跡を絕たず小部隊にて各所に出沒橫行し良民の貨財を掠奪し兇暴を逞うせるが就中光州郡長城靈光郡潭陽は不穩の狀況を呈せり該郡內は橫行を極めたる地點にして賊徒首魁金海山及鄭大洪、鄭大仁、梁相基等の一派及羅州榮山浦附近は首魁姜錫秀、安桂源等が率ゆる一派あり首魁等は稍々國家的思想を有し自ら湖南義兵大將と稱し憲兵補助員及地方に屢々檄文を散布して民心を動搖せしめ我官憲の行動を阻害せんとするのみならず風靡し居る狀況なるに依り頑昧なる土人は喜んで賊徒と近接し勉めて其行動を秘するの態をなし賊徒の出沒も又自在となり從つて小賊は各地に出沒し日人韓人の財物を掠奪して歇まず故に銳意之が討伐に盡力し其禍根を永遠に絕ち秩序の維持を講せんと欲するも未だに遺憾の所あると擧覺するに賊徒等が各所に幾轉出沒する頗る巧妙を極めつゝありと

●叙任辭令

任叙警視奏任官四等 警部 原 龜橘

特叙五勳等賜八卦章 內閣院囑託 鈴木 萬藏

公人私人

▲永井金次郎（富山縣事務官）新義州地方へ出張中の處二十日入京浦尾旅館に投宿

▲高橋榮資（同縣技師）同上

▲押田喜嗣（同縣漁業組合理事）同上

▲津村熊三郎（步兵第四十聯隊第十中隊長）三十日入京不知火旅館

▲前原末吉（步兵第六十四聯隊第八中隊長）同上不知火旅館

▲岩野退助（鎭山金融組合理事）同上山本旅館

▲橫井謙介（滿鐵社員）來京中の處二十日仁川に向ふ

▲白寅基（韓一銀行專務取締役）全州出張中のところ一昨日歸城せり

近事片々

▲殖民 問題は廿世紀の大勢也殖民政策は從來の侵略主義に非ず全く自衛上の政策也

▲年々 歲々增加する人々を其儘にし置けば自ら餓る恰當の殖民地創設は與に急務也

▲殊に 日本の如き領土狹くして人口增加の劇甚なる國に於ては特に其必要を感ずる

▲日本 人の殖民地として韓國の恰當なるは列國も亦承認する所須く大發展を爲せよ

▲韓半 島は土地の割合に人口少し之に殖民するは相近の利益需要供給の原理に合す

▲然る に多數の移民を入るゝに反對の者あるを聞く幷は全く非愛國の所爲なり

▲東拓 會社は與論に顧みて移民主義の方針を改めたりと果して事實ならば甚好矣

▲與論 は多くの場合に於て嚴正なる批評なり賢人良相は由來之に傾聽せざるはなし

▲東拓 重役たるもの今の場合決して我執非を遂るの所爲をなすべからず反省肝要也

▲聞く 所に依れば東拓は追々社內の革淸を斷行して事務の敏捷を計るとは實なる乎

▲事實 ならば矢張り與論に顧みたるならん現狀の儘にては到底事蹟は擧らざるべし

▲不適 任者を陶汰して適材を適所に置かざる可らず幹部の人物に陶汰を斷行せよや

▲統監 府の官制改正所謂縮少說は唯噂のみにして何等の實現なし亦も此儘御流れ乎

▲官吏 陶汰說も矢張同樣何事も斯く決せざるは何故なりや官紀の振はざる理りあり

▲統監 政治の振はざるは適材の少きも一の原因也今に於て精鋭の一掃は最も必要也

▲然る を荏苒此儘經過するに於ては如何なる結果を來すべきか餘り優柔不斷に過ぐ

▲韓人 官吏等にして日人官吏の無能を嘲ける者さへありと聞く甚だ無稽極る事なり

▲無稽 とは云ひながら事實日人官吏に嘲けらるゝ程の無能者ありとせば甚だ慨歎也

▲近來 日人官吏の意氣地なきこと甚だしとの說あるが斯くては指導も啓發もダメ也

▲日糖 事件の連累政友會代議士に續々ある爲に幹部は狼狽し運動を始めたりと云ふ

▲桂首 相が動くや否や[illegible]司直の當事者は如何願はくは飽迄嚴正以て檢擧すべき也

……遣所下士一補助員五は四月七日同地東方三……統三劍一を鹵獲す▲黄海道海州分遣所憲兵……補助員八は四月十一日海州郡内に於て賊……
……南道古縣院分遣所憲兵四補助員六は四月十……衝突其七を殪し二を捕へ銃十四刀二を鹵獲す▲京畿道兩合分遣所憲兵三補助員六は四……と衝突其二を殪し銃一刀一を鹵獲す

寶の灰（一）　某生記

（第一銀行券の燒却）

社から歸つて飯を濟ますと、直ぐさま机に寄つて見たけれど、本を讀む氣もなければ、原稿を書く氣もない、さればと云つて此の暗闇の雨の降る中を、戸外へ飛び出して、心ゆくかぎり、趣味の歡懲を貪らうなど云ふ……那麼强い餘裕のある情は、現在の私には起らないのである、と言つて偶には無茶苦茶の空想に耽る事がないでもないが、唯だもう食ふが爲めにイルラショナルな勞働に服して居る私は、誰やらが云つた不健全なる思想の母「滿腹」のために、今は殆んど疲れきつた軀を僅かに机によつて支ゆるのみである。

洋燈の灯がジリ〳〵と燃ゐる。

花瓶の花がハラ〳〵と落ちる。

雨の夜である。

と、疲れ果てた私の五官は唯だ、現象を現象として受け入るゝばかりで、最早や其處には何等の意義といふものも映じ得ない、要するに不幸な仕方のない人間である、それは私だッて曾ては確乎した見識に取付いて、人生の全ての事象を解釋した事もあつた、けれどもそれは私の世慣れない……謂はゞ小供のやうな眼から見た人生の野原で今では其の視野も幻の影と消ねて譬へば蜃氣樓の如くにして去つた、之を追ふて走つた私は忽ち砂漠の暗に東西を失つた駱駝の如くにして取り殘された、私は何を爲て好いのか分らない、爾うして何處へ適つて好いのか分らない……と憾う云ふうちにも私は近頃妙に黄金が欲しくて仕やうがない否や泌々と戀しうなつた。

今日も晝間茫然として那麼ことを考へてゐると、外出先から歸つて來た社長か、突然に、

「君、十萬圓の灰だよ」

と云つて、新聞紙に包んだ鐵嚢の塊みたいな灰色の代物を出した時は、私は何のことだろふと不思議に思ふたが、それが第一銀行券の舊い奴を燒いたのだと聞いて、私は親の燒骸でも拾つたやうに、否や十年憧れた戀女にでもあつたやうに戀しい思ひで眺めたのである、そして何とも知れぬ淚が一滴頬を傳ふた。

私は切でもの思ひやりに、今夜一夜を枕頭に置いて、思ふさま樂しんでみたいと考へたので、無理に社長に相談して、今宵は茲に携ねて歸つた。

●蒙昧なる韓民の暴行

……二百餘名の洞民……
……我漁夫を亂打す……

去る十七日午後九時半頃一人の漁夫息急き切つて釜山警察署に馳せ付け只今東萊郡沙下面甘水里海岸に於て多數の韓人が日本漁夫十名餘を取圍みて暴行を加へ居る旨を訴へたれば當直の有馬刑事杉山巡査外二名は時を移さず現場に出張せしに釜山を西南に距る約一里許の韓人村落甘水里の海岸に於て**二名の日本漁夫が重傷**を負ひて沙上に轉び伏しつゝ頻りに苦悶せるを認め安村醫師をして應急手當を施さしむると同時に一方加害者の搜査を遂げたる結果甘水里洞長韓善五（六十）漁夫李河元（五十）朴明介（五十）朴億日（六十）李仁中（四十）金致日（三十）の六名を取押へ釜山警察署に引致して目下取調中なるが前記被害者は三重縣河藝郡豐津村當時甘水里海岸漁業納屋假住の漁夫前田常吉（四十）同稻垣七右衛門（三十）にて常吉は頭部二ヶ所背部兩腕等に重き打撲傷を受け殆んど半死半生の樣にて四十二日間を經過せざれば平癒せず七右衛門は右上顎部に挫折創を負ひ疾病休業十日間に及ぶべしと云ふ抑も此暴行の原因は常吉等十數名の漁夫が去三十九年頃より同地に來り漁業に從事し少なからざる收益を得るを目前に傍觀して羨み居たる甘水里洞民は幾度か常吉等の業務に妨害を加へ洞外に排斥せんと企てたるも洞民全般の一致せざる爲め今日までは不平を重ねたるまゝに打過ぎたるが本月一日漁業法の發布さるゝに至り洞長韓善五は洞民一同に謀りて同地沿岸の漁業權を獲得すべく其筋に出願したれば過日屢々常吉等に對して故障を言立て兎角に排斥を試みんとせるうち十七日午後常吉等が例の如く出漁せんとする際長善五等數名は納屋に來りて常吉等に向ひ目下漁業權出願中なれば漁業を中止せよと申入れ若し聽かざれば暴力に訴へても中止せしむべしと嚴談せしも常吉等は其不當を辯じて應せず沿岸に網を投じて漁獲せる午後八時頃突然一村を擧げて**二百餘名の韓民が鐘**を鳴らしつゝ手に〳〵棍棒割木等を携ねて押寄せ來り常吉等を取圍みて網を破毀したる上暴行を加へたるにぞ衆寡敵せず十名の漁夫は警察署に急訴する者多太浦に走る者等散々に敗れて唯常吉等兩名のみ半死半生に苦しめる折柄多太浦より同業者數十名が應援に來るを見て洞民は逸早く引上げたる次第なりと

●前科者の詐欺

仁川新町二丁目米穀商韓某方に再昨日八時頃年頃三十計りの日本人來り米十俵の注文をなし之を搭軍に負せ旅館金村に運搬したる后代金を支拂ふべしと店員と同道にて立ち出でたるが右の男は途中にて二俵を新町二丁目松本拾松方に今二俵を井川繁三郎方に賣り飛ばしたれば同行せる店員は不審に思ひ代金の請求をなしたる所右の男は暫を左右に托して一向に支拂はず終に其の隙を窺ひて何れにか逃走したれば無止右の始末を警察に訴へたるが仁川署刑事は其の人相及び聲なるより察すれば曩に釜山仁川平壤にて窃盜詐僞等を以て入牢せる前科數犯の山口縣熊毛郡平生町新田周一（三十）と云ふが去る二月平壤監獄を出で京城仁川に流れ來り居れば的切此奴の仕業ならんと目星を付け再昨日來仁川柤峴の兩驛に手配を加へ居たるを斯とも知らぬ周吉は高飛せんものと同驛より乘車せんとして吉野巡査及び刑事等に逮捕せられ目下取調中なり

●投書と孤兒

本月十九日頃南部警察署に宛て先月上旬より大和町一丁目爲春堂病院門前附近に年頃八九歳とも見ゆる父母親族なき孤兒（韓男兒）遊び居り四隣の厚き同情により衣服食物等の惠を受け夜間は軒端に莚一枚を敷きて眠り居るさせ憫然の至りなりとの投書をなしたるものありしかば南部署に於ては直ちに巡査を派して取調べたる處事實全く投書の通りにして大和町一丁目九十一番戸前田つた（三十）の如きは同兒が單衣一枚にてフル〳〵震ゐ居るを見兼ね自分の子供の古袷一枚を惠みたるなど附近の者の何づれも非常に同情をなし居る由何どか充分の保護を與へたきものなり

●一萬圓を掠奪す

暴徒の首魁金士星は去る十七日頃徒黨數十名を引率して鎭川郡松亭里居金某方を襲ひて金一万余圓を掠奪したりと又十六日數百余名の暴徒は金南海南郡西中里前主事金某宅に突入して金數百圓を奪去せりと云ふ

●憲兵の奮戰

去十四日全羅南道靈光憲兵分遣所永野灣山兩上等兵外一名は補助員七名を率ひて巡視中同道咸平郡附近に於て賊魁全海山外朴金三名の連合より成る賊約三百卅と衝突交戰約七時間に亘り終に之を撃退し其五を殪し銃三其他雜品若干を鹵獲せり……僅々三名の我憲兵は賊三百餘に當りて之を潰走せしむ近來の快報と云ふべし

●ヨボに鳴を盜まる

京城旭町一丁目田村萬之助の妾で地任玉（十□）は韓男某と仁川に驅け落したるも遂に跡せ□……發見せられ一昨日龍山警察□派出所へ……

●行旅病者

靜岡縣濱名郡芳川村當時□……城本町九丁目十三番戸の四條川喜太郎方に民家原仁平（五十）は昨年十二月より前記喜太郎方に於て豆腐賣子を爲し居たる處本年三月下旬頃より病氣に罹り僅かに治療の見込みなき處より喜太郎に於ても最早救助の餘力なく一昨日行旅病者として屆出でたり

●韓泥の失敗

昨日午前五時頃南山町一丁目五十二番戸小田峯吉方の表戸一枚を外づして四人連れの韓泥が侵入せんとして家……

●又も迷兒

仁川新町松井磯太郎の長女てまよ（三つ）は一昨日迷兒となりたるが宮町にて稻葉總太郎に拾はれ實父に引渡さる

●一昨日の檢黴

新町遊廓一昨日の檢黴にて入院を命ぜられたるは京城樓花子第一樓支店紅梅大桝屋相生南山樓初音の四名なりと一寸誤聞係筋に報告まで

●スレートの需用

近頃建築技師社會に於て家根瓦に代用するにスレートを以てする事大に流行せりと云ふがそは結局瓦よりも經濟にて美なるが爲なるべく現に韓國に於ても陸軍各廳舍兵營鐵道停車場等には續々使用せられ目下建築中なる第一銀行石造家屋もスレートを用ゆると云ふ

●花柳巷談 似合の花較べ（八）

伊豫之守

▲君江こそ多福　君江の病氣を癒さんと平塚海岸散步するトテタッタ……の主人公たる乳姉妹の君江は眞に虛榮心の權化たる當世的ハイカラを現はしたる者に候も花月の君江君は名こそ眞似たれ是れは又打つて替はつた優さしき心根に候、容貌は決して美なるに非らざるも其優さしき性質は自然と容貌の上に現はれ且つ頗る愛嬌に富みたれば客ご言はず朋輩ご言はず彼れを愛せざる者は無之と存候、藝に於ては未成品たるは免かれざるも何事にも器用にして少々宛は總べてに於て心得居り近來は又長唄をも稽古し居れば追つて上達すべくと存候、●●●多福君は漸く先月濟華亭に現はれたる者なるが神戸中檢出身で年齢も君鶴と略ぼ同じく心根の優しき點も能く似たる處有之候、體格は君鶴よりもズット勝れ丸ポチャで能く太つた譃に愛嬌能き妓に候、藝は矢張り未成品なるも踊りは中々上手との事に候、藝妓としての腕前は元より君鶴の方勝り居るも容貌は福鶴の方遙かに優れ居り候、但し金の入齒は少々氣障に存候……次は民にれ玉……

●韓語獨習

日語　韓語

此手紙を會社に、持つて往け　イ、ピヨンヂル、ホイサエ、カヂヨー、カコーラ、
返事を取つて來い　タプチヤン、マツタ
返事を取つて來るのですか　タプチヤン、マツダオナヲ
貴公は、手紙を受取りましたか　コン、ウス、ピヨヌチル、パトツソ
手紙を、誰某に受けました　ピヨヌチル、アチケー、パンナー、オドツソ

◀平民文庫▶

▲今日は太平町附近の投書が重なつて居るから夫れを一つに纏めて載せることにするサア御覧じ（係）●▲藤の家の朝子君よ幾ら胸に七賓のピンを挿して居るからつて餘りスマスんぢやねいや（地獄買）▲八重咲亭のた倉さんは明太魚の申し兒だか知らないが顏が丸くて目玉が小さいから多分申し兒だと思ふ（明太魚の親）▲支那町の梅月樓の女將よ餘り抱へ酌婦の客を横領すると悄まれますよ（西小門被横領生）▲理事廳前の某旅館よ近頃白首の出入が頻繁なり斯くては名前に拘はるぞ（實見生）▲私は日の出亭のれ初の情夫であるが度支部樓上の僕君よ君は過日れ初が千手觀音を征伐して居る所を見たと云ふが本當ですか惚れた慾目で云ふではないか彼女に限つて其樣なことは斷じてない覺悟を定めて返答せられよ（鐵道管理局の役人）▲度支部樓上の僕君一言なくして可なりや（小僧）▲此の小僧孕み女の腰小僧かくすさすれざうも出姿婆る（給仕）▲長谷川町支那洞の前の家の二階から時々彼の狹い路次へ汚物を棄てゝる人を狙つて行る譯けであるまいが注意し玉へ（通行人）▲京城市街に共同便所を增設して貰ひ度い（猩々）▲在京城新聞記者諸君に告ぐ近來怪しき者多數入込みたり注意肝要也（被害者）▲妾は南山町一丁目の或る家に奉公して居る者ですが一昨夜主人の使ひで明治町迄用達に往つた歸り途百卅銀行の横町へ入ると變手古な男が出て來て妾の手を取りましたが京城と云ふ所はうつかり夜は表へ出られませんよ（田舍の娘）▲何うです一つ本町座跡へ韓國一の大劇場を建てゝ貰ひ度い總て關東式にして大入場こ一幕見を是非共頼む（芝居狂者）▲柳の緣はよいが花には白いのもあるよ（紫太）▲夫れが判れば足下は既に道を得たものだと云つたら嬉しからうが及ばざることを遠也矣だ須らく百尺竿頭更に一步を進めよ（小僧禪寺の院代）▲花柳巷談の休掲が續いて居ります（色男）

天氣豫報

二十二日（自廿一日午後六時至廿二日午後六時）
南の風晴後曇
最高溫度　六二、一
最低溫度　四三、五（華氏）

新稱德用燃料 無烟煉炭

特色 火付善く火力耐久價格低廉
用途 鑛、暖爐、竈用に適す

●周防德山海軍省煉炭所東隣
谷口無烟煉炭工場
京城特約店 京城南大門通 電話六〇三番
巴商會 韓國一手販賣 京城太平町二丁目

▲無料紹介欄▼

人事部

清語通譯希望 當初給料望まず 氏名在社（二一二一）

一年齡二十歲身体強壯高等小學校卒業家内の少き内に於て餘暇雜誌教授を受くべき家に下女奉公を望む 旭町一の三二九 まちだ（二一三一）

被雇 甲種商業學校出身一年志願兵役終了給料不望個人商店を望む 姓名在社（二一二三）

被雇希望 實業を求む年廿三身体頑強壯軍隊出射撃術に通ず報酬を不望（衣食に差支へなき限り） 氏名在社（二一二四）

年廿五矢があり雇はれたし特級數百二十以上龍山大島町新玉軒にて 津田（二一二七）

看護婦募集す志望の方は至急申込あれ 明治町恵愛看護婦會

看護婦三名入用 南山町二 松岡醫院

給仕に雇はれたし 氏名在社（二一二八）

物件部

賣家 大和町三丁目西坪の建物あり官吏向に適し風景最もよし望の方は御來談あれ 社内 矢島

貸間 旭町一丁目至極便利の場所電話附（又は賄附にても）にて二間貸したし 氏名在社（二一二五）

獨子龍日本產尾中斷し從來使用中の者至急にかられ心當り御報の者へは謝禮 龍山鍛冶官舍八十八號前 丸山（二一三一）

廣告

●●**賣家**●●
龍山旭橋通り
一、瓦二階及平屋
取まぜ三十三坪
間數十四造作付
外に空地あり
但旅館用道具共一切御相談に應す
右賣却す望の方は御來談被下度候
龍山 丸万旅館

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
來口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
京城旭町三丁目
建築業 柴田芝六
電話五六八番

諸傘並に提灯類
印入 和洋蠟燭あり
京城明治町一丁目
大島商店

待合 花の家
京城南山町一丁目 電話一五二番 花月前

米 東京火災運送保險株式會社
明治廿年七月創立 資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

開店五週年に付大賣出し
謹啓陳者時下陽春の候各位益々御清榮奉大賀候降て弊店儀開店以來茲に五ケ年に相當し其の間大方諸賢の御愛顧により日に月に繁榮に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御惠顧に酬へんが爲め三月廿五日より四月廿四日迄滿一ケ月間二割引の減價を以て販賣仕候間何卒多少に不拘御用命仰付下され度偏に奉希上候

美術書畫
襖、壁、天井張
京城壽町一丁目
挂 萬吉

電話開通 一〇五九番
京城長谷川町
本派本願寺假出張所

龍山 萬長旅館
京山の手 旭町
電話四〇〇番

西洋御料理宴會
京城ホテル
京城南山町三丁目（電話一一三番）

石炭直輸入卸小賣
●精撰塊炭 ●上等塊炭（海軍御用炭）
●荒塊炭 ●切込炭（鐵道御用炭）
弊店の石炭は自己炭鑛よりの直輸入なるを以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候間目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候

赤阪白鶴丹炭坑鑛業部
合名會社 範多商會韓國代理店
大阪鐵工所韓國代理店
韓國京城南大門通（電話長八一九番）
合資會社 長醫商會韓國出張所
仁川濱町一丁目（電話長八三番）
合資會社 長醫商會仁川出張所

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セズ）
京城旭町一丁目六十七番戸
辯護士 岡田榮
（電話三九八番）

電話開通 千百二十七番
廿錢均一にして毎夜無休 夕方より興を求むるには京城座に限る見るは道樂試に御覽なさい
午後六時迄に御越の御方に限り十五錢雨天は半額
京城座

●廢物利用●
一金口莨空箱買入れ申候
但百本入に限る
上等金口トルコ莨發賣所
京城本町四丁目
パ子リス商會

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
各學校御用品調達

委托販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

眼科 內科 外科（入院隨意）
南山町二丁目 植村病院跡
松岡醫院
電話六七五番

純良 牛乳元祖
京城大和町一丁目
平山牧場
電話百三十三番

株式會社 **第一銀行韓國總支店**
電話番號
長第一一番 國庫部、發行部、營業課、當直用
第三三一番 國庫部、發行部、營業課用
第三六一番 支配人、調査部、文書課用
第三二二番 用度係、分析所用
第三三三番 臨時鑑定部用

本店 東京市日本橋區兜町
內地支店 大阪、神戶、名古屋、四日市、下關
出張所 京都、橫濱、
伏見、大阪西區、東京新大阪町
韓國支店 釜山、鎭南浦、木浦、群山、平壤
出張所 仁川、元山、城津、成興、馬山、鏡城、
大邱、開城、
清國出張所 安東縣
右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

電話開通 千百五十二番
京城本町一丁目
和洋紙文房具
諸帳簿諸印刷
北內商店

名茶 寫古 本舖

◎氣候變化―牛乳
◎牛乳―純良―消毒
株式 韓國畜產會社
南大門外（電話八八番）

茶及茶器商 京城本町四丁目
青々園茶舖

青々園
風味絕妙實質の三者を兼備す
正銘宇治茶京都の茶器
故に尤も進物用に適當なり

電話開通 一一二一番

九州セメント
今回大割引を以て販賣仕候間御用命被下度候
京城南山町一丁目電話三四四番
山村商店
龍山元町三丁目電話三二二番
林 藥店

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店（電話二五一番）
和洋酒、酒精酢、穀物麵類罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候

新鮮の調進

神田組

會席御料理
本町八丁目
富士見樓

統監府御用
諸官衙 人力車
荷物荷造及運搬
營業 京城蓬町（電話七三番）
本店 同本町三丁目（電話四〇番）
伊藤組

株式會社 日本郵船會社
仁川 汽船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕店
電話三九番

●釜山長崎門司神戶行 山東丸 五月 九日午後三時
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 四月 廿二日正午
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 四月二十七日前五時
●大連、太沽、牛莊行 酒田丸 五月 十三日正午
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行 立神丸 四月二十八日
御注意 御乘船ノ際ハ艀船決止船ヨリ本船迄送迎船ニテ御送り可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 一枚金二錢 ▲一ケ月金四十錢 ▲三ケ月
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行 ▲六ケ月 ▲一ケ月
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城新報社 電話六六三番